



声なき感染症を知る

◆71◆

世界保健機関(WHO)が「COVID(コビッド)ー19」と名付けた新型コロナウイルス感染症は、「私たちの世代が経験する公衆衛生上最悪の危機」(英国のジョンソン首相の言葉)とされるように、2009年の新型インフルエンザとは異なる状況と想われます。3カ月連続で同じテーマになりますが、今度も新型コロナウイルス感染症についてお話しします。

▽パンデミック宣言
3月11日、WHOは新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について、パンデミック(世界的な大流行)を宣言しました。このパンデミック宣言は、重症の感染症の流行状況が6つのレベルのうち、最高レベル6になったことを意味します。これまでいろいろな感染症が問題にされてきましたが、パンデミック宣言されたのは2009年の新型インフルエンザ以来、初めてのことです。実は2009年の新型インフルエンザは、重症の感染症ではなかったため、パンデミック宣言は誤りであったとされています。このことから、今回のCOVID-19は、私たちの世代がこれまで経験したこと

がない感染症と言えるかも知れません。

▽原因ウイルス

COVID-19の原因ウイルスは、ウイルスの遺伝子解析の結果から、20

無症状でも感染源に「密」を避ける行動を

02年11月に中国で発生したSARS(サーズ)重症急性呼吸器症候群)の

方、今回のCOVID-19は、感染していることが分からない人から広がる

原因ウイルスに非常に似ており、国際ウイルス分類委員会により「SARS-CoV-2」と名付けられました。
▽感染源の特定が困難
SARSは2003年3月はじめごろから急激に世界に拡がり、同年7月には終息宣言され、日本国内では患者発生はありませんでした。SARSは症状がある患者から感染拡大したの

で、症状のあるヒト(感染源)を隔離することで封じ込めができました。一

ら広がって、クラスターと呼ばれる集団感染が起っています。このクラスターは、「風通しが悪い」「人との距離が近い」「集団で一定時間過ごす」という3つの条件がそろっていることで発生しています。奈良県ではこれまでに、大阪のライブハウスのクラスターに関連する方やその濃厚接触者といった患者発生がありました。どこで感染したか分からない患者発生はありません。そのためクラスターになる3つの条件を避けることで、かなりの方々が感染予防できると考えられます。

▽密を避ける

例えば、冬に暖房の効いた小さな公民館での老人会とか、窓を開けるほどではない春に小さい会議室での総会など、人が集まる場によってはクラスターの条件がそろいます。80歳を超えると、死亡率が急増加するとされていますが、中には特に症状も無く感染を広げる場合があることから、若者だけでなく、高齢者の方々も密接空間を避けるような行動が必要です。

▽注意が必要な人

高齢者や基礎疾患(心血管疾患、糖尿病、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患など)がある人は、重症化しやすいことから

注意が必要です。妊婦も、妊娠中は積極的な治療が難しいこともあり、同様に注意が必要です。また、喫煙は呼吸器を痛めつけている状態ですから、禁煙をお勧めします。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

密を避けて外に出しましょう!

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近で会話や発声をする密接場面

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)発生を防止することが重要です。イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

健康相談所 厚生労働省 厚労省 コロナ 検索

集団感染防止のポイントを呼び掛ける厚労省のポスター